

法執行における人種的正義・平等に関して高等弁務官代行が発言

2022/10/03

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会で人権高等弁務官代行が発言した。内容は以下のとおり。歴史的な不正に対処するために根拠に基づいた包括的な取組みがこれまで以上に必要である。各国政府等はアフリカ人・アフリカ系の人々に対する制度的人種主義に対処するために様々な措置をとっているが、定着した構造的・制度的・社会的人種主義を解体するには不十分である。人種的正義・平等の向上を実際に測る尺度や、人種・民族で分類された包括的な公式その他のデータが不可欠であるが、十分ではない。このことが制度的人種主義の実際の兆候を適切に特定し対処するうえで大きな障害となっている。説明責任を確保し被害者・家族を救済するための断固とした措置も必要である。我々はアフリカ系の人々の意見と現実の経験を中心に据える取組みを続けており、人種差別撲滅とマイノリティの保護に関する地域アドバイザーを5か所に配置し現地での活動能力を強化している。